

## 平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ACKグループ  
 コード番号 2498 URL <http://www.ack-g.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画開発本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 廣谷 彰彦  
 (氏名) 森田 信彦

TEL 03-6311-6641

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	20,858	2.4	△699	—	△510	—	△197	—
24年9月期第3四半期	20,359	4.2	△904	—	△912	—	△584	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 △164百万円 (—%) 24年9月期第3四半期 △579百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	△38.65	—
24年9月期第3四半期	△115.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第3四半期	23,151	5,005	21.6	976.35
24年9月期	17,338	5,432	29.8	1,020.22

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 5,005百万円 24年9月期 5,174百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	7.1	470	25.2	430	24.5	410	80.5	80.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	5,840,420 株	24年9月期	5,840,420 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	713,326 株	24年9月期	768,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	5,110,457 株	24年9月期3Q	5,071,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興関連需要や、政権交代後の円安及び株価の回復等により景気回復への期待感が高まる一方で、欧州の債務問題や新興国等の景気低迷等により市場の慎重ムードは根強く、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループでは、国内分野におきましては、震災後の復興による公共事業の増加、公共・民間ともに防災や再生可能エネルギー利用に資するサービスへの需要の高まりもあり、受注高は182億57百万円(前年同四半期比5.9%増)となりました。

国内公共分野におきましては、震災復興関連の調査・設計業務の受注が増大し、施工計画の策定や施工管理等の支援など、被災地の復興に注力いたしました。また、山梨県昭和町においては、官民連携により、「負担付き寄付」による事業方式で災害時の避難所となる公共施設に、独立電源としても活用できる太陽光発電施設を整備するなど、需要の高まる地域防災への対応や、インフラ保全・運営管理、再生可能エネルギー導入による地域活性化の提案を実施してまいりました。

国内民間分野におきましては、都心再開発に係るビル解体工事や土壌汚染調査に係る対策工事の受注を拡大いたしました。

海外分野におきましては、今後期待されるローカルコンサルタント業務に参入すべくインド国デリーへの現地法人の設立を決議するなど、幅広い事業展開を目指しております。なお、海外分野の受注見込みのうち発注が第4四半期以降に延期となった案件の影響もあり、当第3四半期連結累計期間における受注高は57億14百万円(前年同四半期比12.6%減)となっております。

売上高につきましては、当社グループは売上高の割合が3月以降に偏る季節変動特性を有しております。一方で、販売費及び一般管理費は年間を通じて平均的に発生するため、第3四半期連結累計期間までは営業損失を計上する傾向にあります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は208億58百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業損失6億99百万円(前年同四半期は9億4百万円の損失)となりました。経常損失は為替差益等の影響により、5億10百万円(前年同四半期は9億12百万円の損失)と損失額が縮小しております。また、連結子会社である株式会社中央設計技術研究所の株式を追加取得した際に、特別利益として負ののれん発生益1億94百万円を計上したことなどに伴い、四半期純損失は1億97百万円(前年同四半期は5億84百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (インフラ・マネジメントサービス事業)

インフラ・マネジメントサービス事業の国内公共の受注が好調な影響等もあり、売上高は163億82百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。営業損失は、季節変動特性の要因により6億61百万円(前年同四半期は8億77百万円の損失)となっております。

#### (環境マネジメント事業)

環境マネジメント事業の売上高は39億11百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。営業損失は51百万円(前年同四半期は31百万円の損失)となっております。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は11億83百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。利益面においては、営業損失16百万円(前年同四半期は41百万円の損失)となっております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資金調達の状況)

当社グループの業務の契約工期は3月に集中しており、例年納品後の4月、5月に売上代金の回収が集中するため、3月まで運転資金の需要が大きく、借入残高も3月まで段階的に増加する傾向にあります。この資金需要に備えるためコミットメント・ライン契約のほか当座借越契約、私募債の発行並びに長期借入契約を締結することにより借入枠を確保しております。

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は231億51百万円と、前連結会計年度末に比べ58億13百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加12億53百万円、有価証券の増加15億20百万円及び、未成業務支出金の増加28億71百万円によるものであります。

#### (負債の部)

前連結会計年度末に比べ62億39百万円増加し、181億45百万円となりました。これは主に、新たに受注した業務に係る未成業務受入金の増加70億41百万円によるものであります。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ4億26百万円減少し、50億5百万円となりました。これは、当第3四半期連結累計期間において、季節変動特性により四半期純損失を計上し、利益剰余金が減少していること、並びに連結子会社株式の追加取得により少数株主持分が2億58百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。現時点におきましては、平成24年11月14日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,634,820	2,888,652
受取手形及び売掛金	4,814,074	4,454,741
有価証券	—	1,520,102
商品	4,328	7,556
未成業務支出金	5,274,362	8,145,529
繰延税金資産	577,715	814,366
その他	657,256	982,313
貸倒引当金	△9,864	△13,143
流動資産合計	12,952,693	18,800,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	861,157	835,237
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	328,908	302,875
土地	976,522	976,522
その他（純額）	52,501	124,646
有形固定資産合計	2,219,090	2,239,281
無形固定資産		
ソフトウェア	259,428	230,522
のれん	664,959	564,557
その他	58,318	68,147
無形固定資産合計	982,706	863,226
投資その他の資産		
投資有価証券	265,075	296,769
長期貸付金	15,478	11,608
差入保証金	715,040	760,071
繰延税金資産	77,022	42,086
破産更生債権等	23,709	38,094
その他	95,959	127,978
貸倒引当金	△24,310	△37,688
投資その他の資産合計	1,167,975	1,238,920
固定資産合計	4,369,771	4,341,428
繰延資産		
社債発行費	15,908	10,232
繰延資産合計	15,908	10,232
資産合計	17,338,373	23,151,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,867,241	1,669,879
短期借入金	710,880	578,167
1年内償還予定の社債	340,000	340,000
未払法人税等	81,930	92,597
未成業務受入金	4,079,871	11,121,134
賞与引当金	530,003	922,864
受注損失引当金	301,967	505,554
その他	1,611,154	1,248,418
流動負債合計	9,523,047	16,478,616
固定負債		
社債	850,000	680,000
長期借入金	400,000	—
退職給付引当金	405,784	295,271
役員退職慰労引当金	199,166	219,826
負ののれん	184,800	129,360
繰延税金負債	262,491	270,151
その他	80,703	72,697
固定負債合計	2,382,946	1,667,307
負債合計	11,905,994	18,145,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,062	503,062
資本剰余金	748,244	747,953
利益剰余金	4,206,833	3,971,291
自己株式	△292,383	△272,454
株主資本合計	5,165,756	4,949,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,314	56,003
その他の包括利益累計額合計	8,314	56,003
少数株主持分	258,308	—
純資産合計	5,432,379	5,005,856
負債純資産合計	17,338,373	23,151,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,359,690	20,858,206
売上原価	15,961,684	16,302,186
売上総利益	4,398,005	4,556,019
販売費及び一般管理費	5,302,333	5,255,092
営業損失(△)	△904,327	△699,073
営業外収益		
受取利息	3,459	2,034
受取配当金	4,604	6,481
為替差益	—	158,595
負ののれん償却額	55,440	55,440
その他	41,749	54,749
営業外収益合計	105,254	277,301
営業外費用		
支払利息	38,301	29,075
為替差損	7,066	—
支払手数料	27,857	4,198
持分法による投資損失	19,226	32,398
その他	21,390	22,882
営業外費用合計	113,842	88,555
経常損失(△)	△912,915	△510,327
特別利益		
負ののれん発生益	—	194,519
特別利益合計	—	194,519
税金等調整前四半期純損失(△)	△912,915	△315,807
法人税、住民税及び事業税	51,768	102,071
法人税等調整額	△383,595	△205,883
法人税等合計	△331,827	△103,811
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△581,088	△211,995
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,205	△14,490
四半期純損失(△)	△584,293	△197,504

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△581,088	△211,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,827	47,688
その他の包括利益合計	1,827	47,688
四半期包括利益	△579,260	△164,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△582,486	△149,816
少数株主に係る四半期包括利益	3,225	△14,490

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメント サービス	環境 マネジメント	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,901,750	3,802,974	654,964	20,359,690	—	20,359,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,103	56,575	481,035	563,714	△563,714	—
計	15,927,853	3,859,549	1,136,000	20,923,404	△563,714	20,359,690
セグメント損失(△)	△877,884	△31,542	△41,291	△950,719	46,392	△904,327

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△950,719
セグメント間取引消去	305,267
全社費用	△258,874
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△904,327

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位:千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
14,054,900	4,367,325	773,830	1,163,633	20,359,690

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	インフラ・ マネジメン トサービス	環境 マネジメン ト	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,319,538	3,786,465	752,202	20,858,206	—	20,858,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,776	124,958	431,188	618,923	△618,923	—
計	16,382,314	3,911,424	1,183,391	21,477,130	△618,923	20,858,206
セグメント損失(△)	△661,601	△51,584	△16,767	△729,953	30,880	△699,073

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△729,953
セグメント間取引消去	313,615
全社費用	△282,734
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△699,073

(注) 全社費用は報告セグメントに帰属しない費用であり、内部利益控除後の当社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(重要な負ののれん発生益)

当連結会計年度において、インフラ・マネジメンサービス事業において194,519千円の負ののれん発生益を計上しております。これは、連結子会社株式を追加取得したことによるものであります。

4. 地域に関する情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	中近東	その他	計
13,469,857	4,208,416	1,531,442	1,648,490	20,858,206

(注) 売上高は業務の対象国を基礎とし、地理的近接度により国又は地域に分類しております。